農林水産省登録 第24517号

水稲 殺虫・殺菌剤／育苗箱・移植時側条施用剤

ブーン®アレス®

箱粒剤

いもち病　ウンカ類　初期害虫　チョウ目

高密度は種対応　は種前から　移植時側条施用　WCS※使用可

稲の病害抵抗性がアップ!

新規2成分が稲を守る!

- は種前～移植当日まで箱施用可能。
- 高密度は種対応・WCS※使用可能。
- 長い残効性。



いもち病



トビイロウンカ



コブノメイガ



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ

幅広い害虫に
Oxazosulfyl
オキサゾスルフィル

アレス®は住友化学(株)の登録商標

ブーン®、®はクミアイ化学工業(株)の登録商標

※WCS：稲発酵粗飼料

水稲 殺虫・殺菌剤／育苗箱・移植時側条施用剤

ブーン®アレス®箱粒剤

殺虫剤分類	ー
殺菌剤分類	P8

有効成分	オキサゾスルフィル …… 2.0% ジクロベンチアゾクス …… 2.0%
人畜毒性	普通物(毒劇物に該当しないものを指していう通称)

特長

- いもち病に優れた効果と長い残効性
- 抵抗性ウンカ類、チョウ目害虫、初期害虫に優れた効果
- 稲に安全性が高く、は種前～移植当日まで使用可能

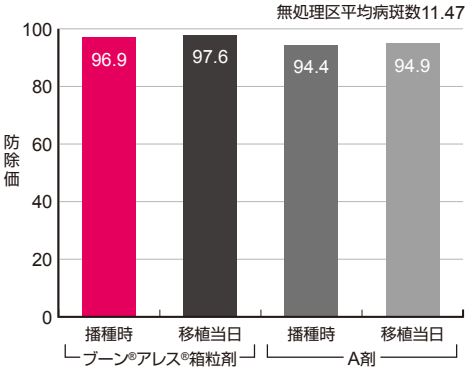
■適用病害虫と使用方法

2026年9月現在

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサゾスルフィルを含む農薬の総使用回数	ジクロベンチアゾクスを含む農薬の総使用回数
稲(箱育苗)	イネヒメハモグリバエ、イネカラバエ、カメムシ類	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50g	移植当日	1回	育苗箱の上から均一に散布する。	1回	3回以内(移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)、苗立枯細菌病		は種時(覆土前)				
	いもち病、白葉枯病、もみ枯細菌病、内穎褐変病、穂枯れ(ごま葉枯病菌)、イナゴ類、ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、コブノメイガ、ニカメイチュウ、フタオビコヤガ、ツマグロヨコバイ、イネツトムシ		は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。		
			は種時(覆土前)～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		
	イネヒメハモグリバエ、イネカラバエ、カメムシ類	高密度には種する場合は1kg/10a(育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50～100g)	移植当日				
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)、苗立枯細菌病		は種時(覆土前)				
稲	いもち病、ウンカ類、イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、コブノメイガ	1kg/10a	移植時		側条施用		

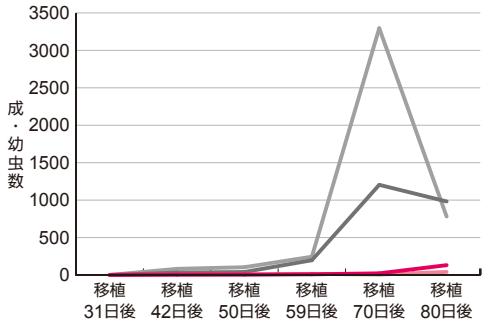
■新農薬実用化試験成績

●いもち病に対する効果



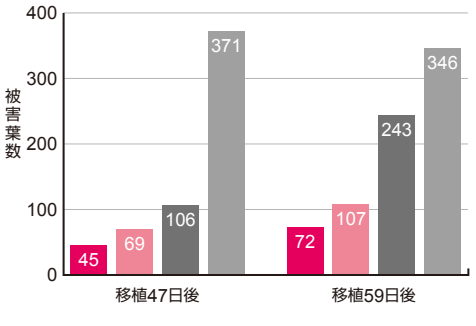
2019年 秋田県農業試験場
品　　種：ナツミノリ
区制・面積：45.9㎡　2連制
播　　種：4月10日　　移植：5月13日
発生程度：中発生(接種)
調　査　日：7月23日(移植71日後)
調査方法：各区100株の上位3葉の病斑数を調査し、防除価を算出した。

●トビイロウンカに対する効果



2019年 鹿児島県農業開発総合センター
品　　種：あきほなみ
区制・面積：132㎡(22m×6m) 2連制
播　　種：5月15日　　移植：6月4日
発生程度：中発生
調　査　日：7月5日(移植31日後)、7月16日(移植42日後)、7月24日(移植50日後)、8月2日(移植59日後)、8月13日(移植70日後)、8月23日(移植80日後)
調査方法：各区10株を2回たたき、払落し法で虫数を調査した。

●コブノメイガに対する効果



2019年 愛媛県農林水産研究所
品　　種：ヒノヒカリ
区制・面積：115㎡(7.2m×16m)連制なし
播　　種：5月31日　　移植：6月19日
発生程度：少発生
調　査　日：8月5日(移植47日後)、8月17日(移植59日後)
調査方法：各区300株×3カ所について上位2葉の被害葉数を調査した。

【使用上の注意事項】

- 所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。
- 苗を田植え機にのせる際、育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は薬剤が落下するおそれがあるため、散布後に葉に付着した薬剤を払い落とした後軽く灌水してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗または苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきはていねいにおこない、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田及び隣接した水田ではいぐさを栽培しないでください。
- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 使用の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 保管…密封し、直射日光をさけ、冷涼・乾燥した場所に保管してください。

本資料は2026年9月現在の知見に基づいて制作しております。

詳しい使い方、登録内容とSDSはこちらから。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ●防除日誌を記帳しましょう。

2633(26-9)

JAグループ 農協 全農 経済連

全農 は登録商標 第4702318号

クミアイ化学

会社情報